

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年5月前半）

1. 経済

- 2014年4月の消費者信頼感指数は▲6で、前月の▲2より後退。（5日付統計局プレスリリース）
- 欧州委員会による2014春の経済見通しによると、ルクセンブルクの経済成長率は2014年2.6%、2015年2.7%。（6日付ル・コティディアン紙）
- 2014年4月のインフレ率は年率0.8%（前月は0.8%）。2014年のインフレ率予測は1.0%と低く、次回の賃金物価スライド制の発動は2015年第1四半期となる見込み。（7日付統計局プレスリリース）
- RTL社、2014年第1四半期の総売上高は1,313百万ユーロ（前年同期比▲0.3%）、純利益は92百万ユーロ（同▲30.8%）。（9日付ル・コティディアン紙）
- SES社、2014年第1四半期の総売上高は465.6百万ユーロ（前年同期比+5.6%）、利払い・税・償却前利益（EBITDA）は345百万ユーロ（同+7.4%）、純利益は150.2百万ユーロ（同+6.1%）。（9日付SES社プレスリリース）
- アルセロール・ミタル社、2014年第1四半期の総売上高は19,788百万ドル（前四半期は19,848百万ドル）、EBITDAは1,754百万ドル（同1,910百万ドル）、純損益は205百万ドルの赤字（同1,227百万ドルの赤字）。（9日付同社プレスリリース）
- プライベートジェットビジネスを行う当国Luxaviation社、英London Executive Aviation社を買収した旨11日に発表。（12日付ル・コティディアン紙）
- Enovosグループ、2013年の総売上高は2,950百万ユーロ（前年比+11.7%）、EBITDAは193.9百万ユーロ（2012年は163.3百万ユーロ）、純利益は96.7百万ユーロ（同117.6百万ユーロ）。（15日付ル・コティディアン紙）

2. 金融

- 保険監督局によると、2014年第1四半期における当国保険セクター全体の保険料収入は前年同期比+0.52%。部門別には、非生命保険部門の保険料収入は前年同期比+6.87%である一方、生命保険部門の保険料は同▲1.38%。（6日付統計局プレスリリース）
- 金融監督委員会（CSSF）の年次報告によると、2013年末時点の当国

金融セクターの就業者数は44,222名（前年比+0.5%）、銀行資産残高は713,380百万ユーロ（前年比▲2.9%）、純利益は3,565百万ユーロ（前年比▲0.9%）、投資信託残高は2兆6154億ユーロ（前年比+9.7%）。（10日付ヴォルト紙）

●中国銀行ルクセンブルク支店、15億元の人民元建て債券をルクセンブルク証券取引所に8日に上場。中国本土の企業がユーロ圏においてオフショア人民元債券を発行するのは初めてであり、同債券は「シェンゲン債」と名付けられた。（12日付証券取引所プレスリリース）

3. 政府

●グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ、EU財務相会合及び欧州投資銀行理事会に5日から6日にかけて出席。（6日付財務省コミュニケ）

●シュナイダー経済相、6日にパリにて開催のOECD閣僚級会合に出席。（7日付経済省コミュニケ）

●アンリ大共同妃両殿下、7日から9日にかけてアセルボーン外相、シュナイダー経済相及びグラメーニャ財務相の同行のもとにポーランドを公式訪問。期間中、両国の商工会議所他の共催による経済・金融フォーラムが開催され、また、両国の商工会議所間、及びルクセンブルク商工会議所とポーランド投資促進局の間で、それぞれ協力合意文書に署名。（9日付政府公報）

●政府は2015年度予算策定作業に、コンサルタントとしてマッキンゼー社、EY社及びPwC社を用いる旨発表。（9日付財務省コミュニケ）

●グラメーニャ財務相及びカベルカ・アフリカ開発銀行総裁、10日にルクセンブルクのアフリカ開発銀行及びアフリカ開発基金への加盟協定に署名。ルクセンブルクは計25百万ユーロ規模の融資を行う。（12日付財務省コミュニケ）

●ギヨーム皇太子殿下、シュナイダー経済相の同行のもとに11日から16日にかけて経済ミッションのために米国（ソルトレイクシティ、サンフランシスコ等）を訪問。（19日付経済省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。